

平成15年7月17日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人 日本環境衛生センター
理事長 小林 康彦

平成15年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る
調査対象試料の頒布について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査の実施を予定しております。

本年度の調査に関しては、環境測定分析検討会において策定した「今後の環境測定分析統一精度管理調査のあり方について」に基づいて、既に環境基準値、測定方法等が定められている測定項目に関して調査する「基本精度管理調査」と、未だ基準値、測定方法等が確立されていない（あるいは確立されて間もない）測定項目や超微量物質等の高度な測定が要求されている測定項目について調査する「高等精度管理調査」について実施します。

基本精度管理調査としては排ガス吸収液試料の大気汚染物質（ SO_x 及び NO_x ）を対象とします（ SO_x の場合には吸収液試料中の硫酸イオン、 NO_x の場合には硝酸イオン及び亜硝酸イオンの分析となります）。高等精度管理調査としては、大気試料のベンゼン等の揮発性有機化合物、底質試料の内分泌攪乱作用が疑われる物質（フタル酸ジエチルヘキシル）、土壌試料の鉛及びダイオキシン類を対象とします。

つきましては、 SO_x （硫酸イオン）、ベンゼン、フタル酸ジエチルヘキシル、鉛又はダイオキシン類等を分析している機関であり、本調査へ参加を希望される民間機関等につきましては、調査参加の申込のうえ、調査対象試料をご購入いただくこととしております。

今年度の調査内容及び参加申込方法を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成15年度環境測定分析統一精度管理調査の内容（予定）及び参加申込方法

1. 調査試料

区分	名称	送付量	容器	個数	備考
共通試料1-1	模擬排ガス吸収 液試料1 (SO _x 分析用)	約200ml	ポリレン 製瓶	1	過酸化水素水(1+25)の水 溶液
共通試料1-2	模擬排ガス吸収 液試料2 (NO _x 分析用)	約100ml	ポリレン 製瓶	1	0.01mol/l硫酸の水溶液
共通試料2	模擬大気試料 (揮発性有機化合 物分析用)	約6L	キャスター (注)	1	空気バラスのガス
共通試料3	底質試料 (フッ酸、1,1,1-トリ フルオロエタン分析用)	約30g	ガラス製瓶	1	乾燥した底質で100meshの ふるいを通過したもの
共通試料4-1	土壌試料1 (鉛分析用)	約25g	ポリレン 製瓶	1	乾燥した土壌で100meshの ふるいを通過したもの
共通試料4-2	土壌試料2 (ダイオキシン類及び コプラ-PCB分析用)	約25g	ガラス製瓶	1	乾燥した土壌で100meshの ふるいを通過したもの
共通試料4-3	土壌試料3 (ダイオキシン類及び コプラ-PCB分析用)	約25g	ガラス製瓶	1	乾燥した土壌で100meshの ふるいを通過したもの

注)洗淨した容器(キャスター、6リットルのものに限る)を準備できない場合には、参加できませ
ん。

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排ガス吸収液試料(大気汚染物質分析用)

排ガスを想定した試料中の大気汚染物質(SO_x及びNO_x)の2項目を測定対象とする。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬大気試料（揮発性有機化合物分析用）

試料中の揮発性有機化合物（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタン）の4項目を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 底質試料（内分泌攪乱作用が疑われる物質分析用）

試料中の内分泌攪乱作用が疑われる物質（フタル酸ジエチルヘキシル）を測定対象とする。

c. 土壌試料（重金属、ダイオキシン類分析用）

試料中の重金属（鉛）、並びにダイオキシン類（ダイオキシン類及びコプラナーPCB）を測定対象とする。ダイオキシン類については、次に示す異性体及び同族体を分析する。

・ダイオキシン類の異性体については、2,3,7,8-位塩素置換異性体（17異性体）とする。17異性体とは、PCDD7項目（2,3,7,8-TeCDD、1,2,3,7,8-PeCDD、1,2,3,4,7,8-HxCDD、1,2,3,6,7,8-HxCDD、1,2,3,7,8,9-HxCDD、1,2,3,4,6,7,8-HpCDD及び0CDD）及びPCDF10項目（2,3,7,8-TeCDF、1,2,3,7,8-PeCDF、2,3,4,7,8-PeCDF、1,2,3,4,7,8-HxCDF、1,2,3,6,7,8-HxCDF、1,2,3,7,8,9-HxCDF、2,3,4,6,7,8-HxCDF、1,2,3,4,6,7,8-HpCDF、1,2,3,4,7,8,9-HpCDF及び0CDF）である。

・ダイオキシン類の同族体については、四塩素化物から八塩素化物の各同族体とそれらの総和とする。

・コプラナーPCBについては、ノンオルト及びモノオルト異性体（全体で12異性体）とする。12異性体とは、ノンオルト4項目（3,3',4,4'-TeCB、3,4,4',5'-TeCB、3,3',4,4',5'-PeCB及び3,3',4,4',5,5'-HxCB）及びモノオルト8項目（2',3,4,4',5'-PeCB、2,3',4,4',5'-PeCB、2,3,3',4,4'-PeCB、2,3,4,4',5'-PeCB、2,3',4,4',5,5'-HxCB、2,3,3',4,4',5'-HxCB、2,3,3',4,4',5'-HxCB及び2,3,3',4,4',5,5'-HpCB）である。

3. 分析方法

(1) 模擬排ガス吸収液試料（SO_x、NO_x）

「排ガス中の硫黄酸化物分析方法（JIS K 0103）」に定める方法及び「排ガス中の窒素酸化物分析方法（JIS K 0104）」に定める方法（模擬排ガス吸収液を想定した試料であり、硫酸イオン、硝酸イオン及び亜硝酸イオンの分析です。滴定法、吸光度法、イオンクロマトグラフ法等となります）

(2) 模擬大気試料（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタン）

「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」（平成9年環境庁告示第4号）に定める方法（容器(キャスター)採取-ガスクロマトグラフ質量分析法となります）

(3) 底質試料（フタル酸ジエチルヘキシル）

「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル（水質、底質、水生生物）」（平成10年環境庁水質保全局水質管理課）に定める方法（ガスクロマトグラフ質量分析法となります）

(4) 土壌試料（鉛）

「土壌汚染対策法施行規則第5条第4項第2号の環境大臣が定める土壌含有調査に係る測定方法」（平成15年環境省告示第19号）に定める方法（原子吸光法、ICP発光分光分析法又はICP質量分析法となります）

(5) 土壌試料（ダイオキシン類及びコプラナーPCB）

「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成10年環境庁告示第68号）に定める方法（ガスクロマトグラフ質量分析法となります）

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期 8月下旬(予定)

(2) 報告期限

模擬排ガス吸収液試料、底質試料及び土壌試料(重金属):10月中旬(予定)

模擬大気試料及び土壌試料(ダイオキシン類):11月下旬(予定)

ただし、分析結果報告の方法(ホームページ又は用紙による報告)により報告期限および参加料金が異なります。ホームページによる報告の場合、用紙による報告に比べて期限が1週間程度遅く、料金は試料毎に1,000円減額となります。

なお、分析結果を報告いただいた機関には、翌年度(時期未定)「調査結果報告書」(環境省編)を送付いたします。

5. 申込方法

別紙試料購入申込書に記入の上、下記へ送付ください。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦下さい。

(1) 試料購入等の区分及び費用(税込み)

区分		費用	
共通試料1-1		2試料合わせて13,000円	全試料合わせて 90,000円
共通試料1-2			
共通試料2		18,000円	
共通試料3		10,000円	
共通試料4-1		10,000円	
共通試料4-2		2試料合わせて45,000円	
共通試料4-3			
分析結果の 報告の方法	ホームページにて報告	区分毎に1,000円減額 (全試料合わせて5,000円減額)	
	用紙にて報告	減額なし	

(2) 申込締切 平成15年8月5日(火)(必着)

(3) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6

財団法人日本環境衛生センター

環境科学部 西尾、加藤

TEL 044-288-5132

試料購入申込書の受理とともに、調査参加申し込みと代えさせていただきます。

なお、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

平成15年度環境測定分析統一精度管理調査に係る試料購入申込書

機関名		
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL () -
	氏名	FAX () - e-mail(@)
希望する試料 (数字及び分析結果報告の方法を で囲んでください)	1. 共通試料1 (ホームページ、用紙)注3) (模擬非ガス吸収液試料1、2) 2. 共通試料2 注1) (ホームページ、用紙)注3) (模擬大気試料) 3. 共通試料3 (ホームページ、用紙)注3) (底質試料) 4. 共通試料4 - 1 (ホームページ、用紙)注3) (土壌試料1) 5. 共通試料4 - 2、4 - 3 注2) (ホームページ、用紙)注3) (土壌試料2、3)	

注1) 共通試料2 (模擬大気試料) の場合には、洗浄した容器 (キャニスター、6リットルのものに限る) を準備できない機関は参加できません。

注2) 共通試料4 - 2、4 - 3については、必ず2試料とも参加ください。

注3) で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

(財) 日本環境衛生センター 殿

平成15年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成15年 月 日

機関名

印